

検査項目	測定法	基準範囲・臨床判断値	出典元	単位	採取容器/ 添加物	材料 採取量(ml)	注意事項
尿定性:比重	屈折率法/化学的比重測定法	1.005 ～ 1.030	試験紙添付文書		ハルンカップ	尿20.0	採取後速やかに提出
:pH	pH指示薬法	4.5 ～ 7.5	試験紙添付文書				
:蛋白半定量	蛋白誤差法	(-)	試験紙添付文書				
:潜血反応	ヘモグロビンのペルオキシダーゼ様作用	(-)	試験紙添付文書				
:白血球反応	白血球エステラーゼ活性法	(-)	試験紙添付文書				
:亜硝酸塩反応	グリス法	(-)	臨床検査法提要改訂第35版				
:糖半定量	酵素法(GOD、POD法)	(-)	試験紙添付文書				
:ケトン体	アルカリニトロシッド法	(-)	試験紙添付文書				
:ビリルビン	アゾカップリング法	(-)	試験紙添付文書				
:ウロビリノーゲン	アゾカップリング法	(±)	試験紙添付文書				
尿沈渣:赤血球数	フローサイトメトリー法 目視法	4 以下	尿沈渣検査法2010第1版	/HPF	ハルンカップ	尿10.0	規定量10mL (日動帯のみ検査可能)
:白血球数		4 以下	尿沈渣検査法2010第1版	/HPF			
:扁平上皮細胞		設定なし		/HPF			
:硝子円柱		設定なし		フローサイトメトリー法: なし 目視法:/WF			
蛋白定量(尿)	ヒドラロールレッド・モリアデン色素錯体法(PR-Mo法)	20.0 mg/day～ 120.0 mg/day	臨床検査法提要改訂第35版	mg/dL	ハルンカップ	尿1.0	採取後速やかに提出
微量アルブミン(尿)	免疫比濁法	3.1 mg/day～ 8.3 mg/day	臨床検査法提要改訂第35版	μg/mL	ハルンカップ	尿1.0	
微量アルブミン/クレアチニン比	計算値	設定なし	臨床検査法提要改訂第35版	mg/g・Cr	ハルンカップ	尿1.0	
β2-マイクログロブリン(尿)	ラテックス免疫比濁法	11 μg/day～ 253 μg/day	臨床検査法提要改訂第35版	ng/mL	ハルンカップ	尿1.0	
尿素窒素(尿)	クレアゼ・GLDH・ICDH・UV法(アンモニア消去法)	7 g/day～ 13 g/day	臨床検査法提要改訂第35版	mg/dL	ハルンカップ	尿1.0	
クレアチニン(尿)	酵素法	0.5 g/day～ 1.5 g/day	臨床検査法提要改訂第35版	mg/dL	ハルンカップ	尿1.0	
尿酸(尿)	酵素(ウリカゼ・POD)法	0.4 g/day～ 0.8 g/day	臨床検査法提要改訂第35版	mg/dL	ハルンカップ	尿1.0	
ナトリウム(尿)	イオン選択電極法	70 mmol/day～ 250 mmol/day	臨床検査法提要改訂第35版	mmol/L(mEq/L)	ハルンカップ	尿1.0	
カリウム(尿)	イオン選択電極法	25 mmol/day～ 100 mmol/day	臨床検査法提要改訂第35版	mmol/L(mEq/L)	ハルンカップ	尿1.0	
クロール(尿)	イオン選択電極法	70 mmol/day～ 250 mmol/day	臨床検査法提要改訂第35版	mmol/L(mEq/L)	ハルンカップ	尿1.0	
マグネシウム(尿)	酵素法	20.6 mg/day～ 164.9 mg/day	臨床検査法提要改訂第35版	mg/dL	ハルンカップ	尿1.0	
カルシウム(尿)	CPZⅢ法	100 mg/day～ 200 mg/day	臨床検査法提要改訂第35版	mg/dL	ハルンカップ	尿1.0	
無機リン(尿)	酵素法	400 mg/day～ 800 mg/day	臨床検査法提要改訂第35版	mg/dL	ハルンカップ	尿1.0	
糖定量(尿)	酵素(ヘキシナーゼ:HK)法	30 mg/day～ 130 mg/day	臨床検査法提要改訂第35版	mg/dL	ハルンカップ	尿1.0	
浸透圧(尿)	氷点降下法	50 ～ 1300	臨床検査法提要改訂第35版	mOsm/kg・H ₂ O	ハルンカップ	尿1.0	
N-アセチルグルコサミンナーゼ(随尿)(NAG)	MPT-NAG法	5.0以下	臨床検査法提要改訂第35版	U/L	ハルンカップ	尿1.0	
アミラーゼ(総)(尿)	JSCO標準化対応法	50 U/L～500 U/L	臨床検査法提要改訂第35版	U/L	ハルンカップ	尿1.0	
髄液検査:外観	目視法	無色透明	臨床検査総論第3版		滅菌スピッツ	髄液3.0	採取後速やかに提出
:比重	屈折率法	1.005 ～ 1.007	臨床検査総論第3版				
:細胞数	目視法	新生児:20/μL以下 乳児:10/μL以下 乳児以降:5/μL以下	髄液検査技術教本第1版	/μL			採取後速やかに提出、検体凝固不可
	半導体レーザーを使用したフローサイトメトリー法						
蛋白定量(髄液)	ヒドラロールレッド・モリアデン色素錯体法(PR-Mo法)	15 ～ 45	臨床検査法提要改訂第35版	mg/dL			採取後速やかに提出
糖定量(髄液)	酵素(ヘキシナーゼ:HK)法	50 ～ 75	臨床検査法提要改訂第35版	mg/dL			
ナトリウム(髄液)	イオン選択電極法	130 ～ 150	臨床検査法提要改訂第35版	mmol/L(mEq/L)			
カリウム(髄液)	イオン選択電極法	2.5 ～ 3.5	臨床検査法提要改訂第35版	mmol/L(mEq/L)			
クロール(髄液)	イオン選択電極法	120 ～ 125	臨床検査法提要改訂第35版	mmol/L(mEq/L)			
胸水・腹水検査:比重	屈折率法	設定なし			滅菌スピッツ	胸水1.0 腹水1.0	採取後速やかに提出
:細胞数	目視法	設定なし		/μL			採取後速やかに提出、検体凝固不可
	半導体レーザーを使用したフローサイトメトリー法						
関節液:細胞数	半導体レーザーを使用したフローサイトメトリー法	200/μL	一般検査技術教本	/μL	滅菌スピッツ	関節液1.0	※2025/9/16より院内測定開始 日動帯のみ検査可能 検体凝固不可
:結晶	目視法	(-)	一般検査技術教本		滅菌スピッツ		

検査項目	測定法	基準範囲	基準範囲出典元	単位	採取容器	材料 採取量(ml)	注意事項	
血算：白血球数	半導体レーザーを使用したフローサイトメリー法	3.3～8.6	JCCLS共用基準範囲	10 ³ /μL	⑧K薄紫2 (EDTA2K)	血液2.0	採取後速やかに提出 検体凝固不可	
：赤血球数	シースフローDC検出法	男：4.35～5.55	JCCLS共用基準範囲	10 ⁶ /μL				
		女：3.86～4.92	JCCLS共用基準範囲	10 ⁶ /μL				
：ヘモグロビン	SLS-ヘモグロビン法	男：13.7～16.8	JCCLS共用基準範囲	g/dL				
		女：11.6～14.8	JCCLS共用基準範囲	g/dL				
：ヘマトクリット	赤血球パルス波高値検出法	男：40.7～50.1	JCCLS共用基準範囲	%				
		女：35.1～44.4	JCCLS共用基準範囲	%				
：MCV	計算値	83.6～98.2	JCCLS共用基準範囲	fL				
：MCH	計算値	27.5～33.2	JCCLS共用基準範囲	pg				
：MCHC	計算値	31.7～35.3	JCCLS共用基準範囲	g/dL				
：赤血球分布幅	シースフローDC検出法	11.6～14.0	臨床検査法提要改訂第35版	%				
：血小板数	シースフローDC検出法(PLT-I)、半導体レーザーを使用したフローサイトメリー法(PLT-F)	158～348	JCCLS共用基準範囲	10 ³ /μL				
：平均血小板容量	シースフローDC検出法	7.0 ～ 11.0	臨床検査法提要改訂第35版	fL				
：網状赤血球比率	半導体レーザーを使用したフローサイトメリー法	8.0～22.0	スタンダード検査血液学第3版	‰				
：網状赤血球絶対数	半導体レーザーを使用したフローサイトメリー法	3.0～9.0	スタンダード検査血液学第3版	10 ⁴ /μL				
末梢血液像	FCM法(XN-9100) (自動法)	好中球　　：　38.5 ～ 80.5	血液検査技術教本第2版	%	⑧K薄紫2 (EDTA2K)	血液2.0	採取後速やかに提出 検体凝固不可	
		リンパ球　：　16.5 ～ 49.5	血液検査技術教本第2版	%				
		単球　　　：　2.0 ～ 10.0	血液検査技術教本第2版	%				
		好酸球　　　：　0.0 ～ 8.5	血液検査技術教本第2版	%				
		好塩基球　：　0.0 ～ 2.5	血液検査技術教本第2版	%				
	目視法　（メイグリンワルド・キムザ染色）	好中球桿状核　：　0.5 ～ 6.5	血液検査技術教本第2版	%	⑧K薄紫2 (EDTA2K)	血液2.0	採取後速やかに提出 検体凝固不可 (日動帯のみ検査実施)	
		好中球分葉核：38.0 ～ 74.0	血液検査技術教本第2版	%				
		リンパ球　　　：16.5 ～ 49.5	血液検査技術教本第2版	%				
		単球　　　　　：2.0 ～ 10.0	血液検査技術教本第2版	%				
		好酸球　　　　　：0.0 ～ 8.5	血液検査技術教本第2版	%				
		好塩基球　　　：0.0 ～ 2.5	血液検査技術教本第2版	%				
赤血球沈降速度	Westergren変法	男：2～10（1時間値）	臨床検査法提要改訂第35版	mm/hr	⑩橙ゴム (クエン酸Na)	血液1.3	採取後速やかに提出 検体凝固不可 規定量厳守 (日動帯のみ検査実施)	
		女：3～15（1時間値）	臨床検査法提要改訂第35版	mm/hr				
NAP陽性率(末梢)	朝長法変法	男：61～100	血液検査学第2版	%	⑧K薄紫2 (EDTA2K)	血液2.0	採取後速やかに提出 検体凝固不可	
		女：68～100	血液検査学第2版	%				
NAPスコア(末梢)		男：170～ 335	臨床検査法提要改訂第35版					
		女：189 ～ 367	臨床検査法提要改訂第35版					
プロトロンビン時間(秒)	凝固法	9.6 ～ 13.1	試薬添付文書	sec	⑨凝固黒色 (クエン酸Na)	血液2.7 小児0.9	採取後速やかに提出 検体凝固不可 規定量厳守	
プロトロンビン時間(INR)	凝固法	0.90 ～ 1.10	血液検査学第2版					
活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)	凝固法	24.0 ～ 34.0	試薬添付文書	sec				
フィブリノーゲン	トロンビン時間法	200 ～ 400	試薬添付文書	mg/dL				
アンチトロンビン	合成基質法	80 ～ 130	試薬添付文書	%				
フィブリン分解産物(FDP)	ラテックス免疫比濁法	5.0 以下	試薬添付文書	μg/mL				
Dダイマー(DD)	ラテックス免疫比濁法	1.0 以下	試薬添付文書	μg/mL				
CD4	フローサイトメリー法	25.0～56.0	スタンダード検査血液学第4版	%	⑧K薄紫2 (EDTA2K)	血液2.0	採取後速やかに提出 検体凝固不可 (日動帯のみ検査実施)	
CD8		17.0～44.0	スタンダード検査血液学第4版	%				
CD4/CD8		0.6～2.9	スタンダード検査血液学第4版	比	⑧K薄紫2 (EDTA2K) シリレンジ	骨髓(他) 0.5		
CD34		設定なし						
骨髓有核細胞数	目視法	10 ～ 25	臨床検査法提要改訂第35版	10 ⁴ /μL	⑧K薄紫2 (EDTA2K)	骨髓2.0	採取後速やかに提出 検体凝固不可 (日動帯のみ検査実施)	
骨髓巨核球数	目視法	50～150	臨床検査法提要改訂第35版	/μL				
骨髓細胞数分類	目視法	設定なし		%				

検査項目	測定法	基準範囲	基準範囲出典元	単位	採取容器	材料 採取量(ml)	注意事項
総蛋白	ビュレット法	6.6～8.1	JCCLS共用基準範囲	g/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
アルブミン	BCP改良法	4.1～5.1	JCCLS共用基準範囲	g/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
A/G比	計算値	1.32～2.23	JCCLS共用基準範囲		②ﾌﾚﾍﾞ6	計算項目	
C反応性蛋白定量	ラテックス免疫比濁法	0.000～0.140	JCCLS共用基準範囲	mg/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
血清アミロイドA蛋白(SAA)	ラテックス免疫比濁法	3 以下	試薬添付文書	mg/mL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液1.7	
尿素窒素	クレアチニセ・GLDH・ICDH・UV法(アンモニア消去法)	8 ～ 20	JCCLS共用基準範囲	mg/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
クレアチニン	酵素法	男:0.65 ～ 1.07	JCCLS共用基準範囲	mg/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
		女:0.46 ～ 0.79		mg/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
シスチンC	ラテックス免疫比濁法	0.40 ～ 0.90	試薬添付文書	mg/L	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液1.7	
尿酸	酵素(ウリカーゼPOD)法	男:3.7 ～ 7.8	JCCLS共用基準範囲	mg/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
		女:2.6 ～ 5.5		mg/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
アンモニア	酵素サイクリング法	12 ～ 66	試薬添付文書	μ g/dL	⑧K薄紫2 (EDTA2K)	血液2.0	採血後氷水下で速やかに搬送。室温搬送及び検体凝固不可
ナトリウム	イオン選択電極法(希釈法)	138 ～ 145	JCCLS共用基準範囲	mmol/L(mEq/L)	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
カリウム	イオン選択電極法(希釈法)	3.6 ～ 4.8	JCCLS共用基準範囲	mmol/L(mEq/L)	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	検体溶血で偽高値
クロール	イオン選択電極法(希釈法)	101 ～ 108	JCCLS共用基準範囲	mmol/L(mEq/L)	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
浸透圧(実測値)	過冷却氷点降下法	275 ～ 290	臨床検査法提要改訂第35版	mOsm/kg・H ₂ O	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液1.6	
浸透圧(計算値)	計算法(2.00×Na+血糖値/18+尿素窒素/2.8)	設定なし		mOsm/kg・H ₂ O	②ﾌﾚﾍﾞ6	計算項目	
カルシウム	クロロホスホナゾⅢ法(CPZⅢ法)	8.8 ～ 10.1	JCCLS共用基準範囲	mg/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
マグネシウム	酵素法	1.8 ～ 2.4	試薬添付文書	mg/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
無機リン	酵素法	2.7 ～ 4.6	JCCLS共用基準範囲	mg/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
血糖	酵素(ヘキソキナーゼ(HK))法	73 ～ 109	JCCLS共用基準範囲	mg/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	糖加輸液中のライン採血で偽高値
HbA1c(NGSP)	酵素法	4.9 ～ 6.0	JCCLS共用基準範囲	%	⑥A1c紺 (EDTA2K)	血液2.0	検体凝固・溶血不可
グリコアルブミン	酵素法／BCP法	11.0 ～ 16.0	試薬添付文書	%	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液1.7	
3-ヒドロキシ酪酸	酵素サイクリング法	0 ～ 74	試薬添付文書	μ mol/L	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
乳酸	酵素法	5.0 mg/dL～20.0 mg/dL(0.6 mmol/L～2.2 mmol/L)	試薬添付文書	mg/dL	⑦乳ビル灰 (NaF)	血液2.0	採血後氷水下で速やかに搬送。室温搬送及び検体凝固不可
ビルビン酸	酵素法	0.3 ～ 0.9	試薬添付文書	mg/dL	⑦乳ビル灰 (NaF)	血液2.0	
アルコール	酵素法(ADH-UV系)	設定なし		mg/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	採血後速やかに提出
総ビリルビン	酵素法	0.4 ～ 1.5	JCCLS共用基準範囲	mg/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
直接ビリルビン	酵素法	0.2以下	試薬添付文書	mg/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
間接ビリルビン	計算法	設定なし		mg/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
アミラーゼ	JSCC標準化対応法	44 ～ 132	JCCLS共用基準範囲	U/L	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
リパーゼ	合成基質比色法(DGGMR)	13 ～ 55	臨床検査法提要改訂第35版	U/L	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
アルカリフォスファターゼ	IFCC標準化対応法	38 ～ 113	JCCLS共用基準範囲	U/L	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
γ-GTP	JSCC標準化対応法	男:13 ～ 64	JCCLS共用基準範囲	U/L	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
		女:9 ～ 32		U/L	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
AST	JSCC標準化対応法	13 ～ 30	JCCLS共用基準範囲	U/L	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	検体溶血で偽高値
ALT	JSCC標準化対応法	男:10 ～ 42	JCCLS共用基準範囲	U/L	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
		女:7 ～ 23		U/L	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
コリンエステラーゼ	JSCC標準化対応法	男:240 ～ 486	JCCLS共用基準範囲	U/L	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
		女:201 ～ 421		U/L	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
乳酸脱水素酵素(LD)	IFCC標準化対応法	124 ～ 222	JCCLS共用基準範囲	U/L	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	検体溶血で偽高値
クレアチンキナーゼ(CK)	JSCC標準化対応法	男:59 ～ 248	JCCLS共用基準範囲	U/L	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
		女:41 ～ 153		U/L		血液3.1	激しい運動後、偽高値
MB型クレアチンキナーゼ(CK-MB 蛋白定量)	ラテックス免疫比濁法	5以下	試薬添付文書	ng/mL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
ミオグロビン	ラテックス免疫比濁法	70以下	試薬添付文書	ng/mL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
総コレステロール	酵素法	142～248	JCCLS共用基準範囲	mg/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
LDL-コレステロール	酵素法	65～163	JCCLS共用基準範囲	mg/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
HDL-コレステロール	酵素法	男:38～90	JCCLS共用基準範囲	mg/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	
		女:48～103		mg/dL	②ﾌﾚﾍﾞ6	血液3.1	

検査項目	測定法	基準範囲	基準範囲出典元	単位	採取容器	材料 採取量(ml)	注意事項
中性脂肪	酵素法	男:40～234	JCCLS共用基準範囲	mg/dL	②ﾌﾚ黄6	血液3.1	食後、高値
		女:30～117		mg/dL	②ﾌﾚ黄6	血液3.1	食後、高値
トランスサイレチン (pre-ALB)	免疫比濁法	男:23 ～ 42	試薬添付文書	mg/dL	②ﾌﾚ黄6	血液1.7	
		女:22 ～ 34		mg/dL		血液1.7	
レチノール結合蛋白(RBP)	ラテックス免疫比濁法	男:2.7 ～ 6.0	試薬添付文書	mg/dL	②ﾌﾚ黄6	血液1.7	
		女:1.9 ～ 4.6		mg/dL		血液1.7	
トランスフェリン	免疫比濁法	男:190 ～ 300	試薬添付文書	mg/dL	②ﾌﾚ黄6	血液1.7	
		女:200 ～ 340		mg/dL		血液1.7	
フェリチン	ラテックス免疫比濁法	男:31.0 ～ 325.0	試薬添付文書	ng/mL	②ﾌﾚ黄6	血液3.1	
		女:5.0 ～ 179.0		ng/mL		血液3.1	
鉄	Nitroso-PSAP法	40～188	JCCLS共用基準範囲	μg/dL	②ﾌﾚ黄6	血液3.1	検体溶血で偽高値
IgG	免疫比濁法	861 ～ 1747	JCCLS共用基準範囲	mg/dL	②ﾌﾚ黄6	血液1.7	
IgA	免疫比濁法	93 ～ 393	JCCLS共用基準範囲	mg/dL	②ﾌﾚ黄6	血液1.7	
IgM	免疫比濁法	男:33 ～ 183	JCCLS共用基準範囲	mg/dL	②ﾌﾚ黄6	血液1.7	
		女:50 ～ 269		mg/dL		血液1.7	
C3	免疫比濁法	73 ～ 138	JCCLS共用基準範囲	mg/dL	②ﾌﾚ黄6	血液1.7	
C4	免疫比濁法	11 ～ 31	JCCLS共用基準範囲	mg/dL	②ﾌﾚ黄6	血液1.7	
β2-マイクログロブリン	ラテックス免疫比濁法	2.00以下	試薬添付文書	μg/mL	②ﾌﾚ黄6	血液1.7	
IgE	ラテックス免疫比濁法	361 以下	試薬添付文書	IU/mL	②ﾌﾚ黄6	血液1.7	
リウマトイド因子(RF)	ラテックス免疫比濁法	15.0 未満	試薬添付文書	IU/mL	②ﾌﾚ黄6	血液1.7	
マトリックスメタロプロテインナーゼ-3 (MMP-3)	ラテックス免疫比濁法	男:36.9 ～ 121.0	試薬添付文書	ng/mL	②ﾌﾚ黄6	血液1.7	
		女:17.3 ～ 59.7		ng/mL		血液1.7	
高感度心筋トロポニン(血清)	CLEIA法(2ステップサンドイッチ法)	0.017以下	試薬添付文書	ng/mL	②ﾌﾚ黄6	血液1.5	
葉酸	ECLIA法(1ステップ競合法)	3.9 ～ 26.8	試薬添付文書	ng/mL	②ﾌﾚ黄6	血液1.6	採取後速やかに提出 (検体溶血で偽高値)
		欠乏症:<4.0	臨床検査法提要改訂第35版	ng/mL			
ビタミンB12	ECLIA法(1ステップ競合法)	197.0 ～ 771.0	試薬添付文書	pg/mL	②ﾌﾚ黄6	血液1.6	採取後速やかに提出
エストラジオール	ECLIA法(競合法)	男性:14.6～48.8	試薬添付文書	pg/mL	②ﾌﾚ黄6	血液1.6	
		女性: 卵胞期:28.8～196.8					
		排卵期:36.4～525.9					
		黄体期:44.1～491.9					
		閉経後:47.0以下					
黄体形成ホルモン(LH)	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	男性:2.2～8.4	試薬添付文書	mIU/mL	②ﾌﾚ黄6	血液1.6	
		女性:卵胞期:1.4～15.0					
		排卵期:8.0～100.0					
		黄体期:0.5～15.0					
		閉経後:11.0～50.0					
卵胞刺激ホルモン(FSH)	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	男性:1.8～12.0	試薬添付文書	mIU/mL	②ﾌﾚ黄6	血液1.6	
		女性:卵胞期:3.0～10.0					
		排卵期:5.0～24.0					
		黄体期:1.3～6.2					
		閉経後:26.0～120.0					
プロゲステロン	ECLIA法(競合法)	男性:0.2以下	試薬添付文書	ng/mL	②ﾌﾚ黄6	血液1.6	
		女性:卵胞期:0.3以下					
		排卵期:5.7以下					
		黄体期:2.1～24.2					
		閉経後:0.3以下					

検査項目	測定法	基準範囲	基準範囲出典元	単位	採取容器	材料 採取量(ml)	注意事項
プロラクチン	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	男性:4.3～13.7	試薬添付文書	ng/mL	②フレ黄6	血液1.6	
		女性:閉経前:4.9～29.3					
		閉経後:3.1～15.4					
ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	男性:2.0以下	試薬添付文書	mIU/mL	②フレ黄6	血液1.6	
		女性:非妊婦 3.0以下					
		女性:閉経後 6.0以下					
インスリン	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	18.7 以下	試薬添付文書	μ U/mL	②フレ黄6	血液1.6	検体強溶血で偽高値
Cペプチド(血清)	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	0.8 ～ 2.5	試薬添付文書	ng/mL	②フレ黄6	血液1.6	
コレステロール	ECLIA法(競合法)	3.0 ～ 19.6	試薬添付文書	μ g/dL	②フレ黄6	血液1.6	
副甲状腺インパクト(PTH-1)	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	10 ～ 65	臨床検査法提要改訂第35版	pg/mL	②フレ黄6	血液1.6	
甲状腺刺激ホルモン(TSH)	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	0.500 ～ 5.000	試薬添付文書	μ IU/mL	②フレ黄6	血液1.6	
遊離トリヨードサイロニン(FT3)	ECLIA法(競合法)	2.30 ～ 4.00	試薬添付文書	pg/mL	②フレ黄6	血液1.6	
遊離サイロキシシン(FT4)	ECLIA法(競合法)	0.90 ～ 1.70	試薬添付文書	ng/dL	②フレ黄6	血液1.6	
抗TSHレセプター抗体(TRAβ)	ECLIA法(競合法)	2.0 未満	試薬添付文書	IU/L	②フレ黄6	血液1.6	
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド 前駆体N末端フラグメント(NT- proBNP)	CLEIA法(2ステップサンドイッチ法)	18.4 以下	試薬添付文書	pg/mL	⑤2NA赤 (EDTA2Na)	血液2.0	検体凝固不可
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド 前駆体N末端フラグメント(NT- proBNP)	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	125 以下	試薬添付文書	pg/mL	②フレ黄6	血液1.6	
副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	7.2 ～ 63.3	試薬添付文書	pg/mL	⑤ACTH (EDTA2Na)	血液2.0	検体凝固不可・規定量以下参考値・氷冷蔵送
テストステロン	ECLIA法(1ステップ競合法)	男:1.31～8.71	試薬添付文書	ng/mL	②フレ黄6	血液1.6	
		女(閉経前):0.11～0.47 女(閉経後):0.04～0.43		ng/mL		血液1.6	
梅毒抗脂質抗体(RPR法)	ラテックス免疫比濁法	陰性(0.0～0.9)	試薬添付文書	R.U.	②フレ黄6	血液3.1	
梅毒トレポネーマ抗体(TP抗体)	ラテックス免疫比濁法	陰性(0.0 ～ 9.9)	試薬添付文書	T.U.	②フレ黄6	血液3.1	
HBs抗原	CLEIA法(特殊2ステップサンドイッチ法)	陰性(4.9以下)	試薬添付文書	mIU/mL	②フレ黄6	血液1.5	
HBs抗体	CLEIA法(1ステップサンドイッチ法)	陰性(10.0 未満)	試薬添付文書	mIU/mL	②フレ黄6	血液1.5	
HCV抗体	CLEIA法(希釈2ステップサンドイッチ法)	陰性(1.0 未満)	試薬添付文書	C.O.I	②フレ黄6	血液1.5	
HIV 抗原・抗体	CLEIA法(特殊2ステップサンドイッチ法)	陰性(1.0 未満)	試薬添付文書	C.O.I	②フレ黄6	血液1.5	
HTLV-Ⅰ / Ⅱ 抗体	CLEIA法(2ステップサンドイッチ法)	陰性(1.0 未満)	試薬添付文書	C.O.I	②フレ黄6	血液1.5	
β-Dグルカン	比濁時間分析法	11.0 未満	試薬添付文書	pg/mL	⑬エンドβ (ヘパリンLi)	血液2.0	検体凝固不可
プロカルシトニン(PCT)	CLEIA法(2ステップサンドイッチ法)	0.50 未満	試薬添付文書	ng/mL	②フレ黄6	血液1.5	
癌胎児性抗原(CEA)	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	5.0 未満	試薬添付文書	ng/mL	②フレ黄6	血液1.6	
α-フェトプロテイン(AFP)	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	10未満	臨床検査法提要改訂第35版	ng/mL	②フレ黄6	血液1.6	
CA19-9	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	37 以下	試薬添付文書	U/mL	②フレ黄6	血液1.6	
CA15-3	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	25 以下	試薬添付文書	U/mL	②フレ黄6	血液1.6	
CA125	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	35 以下	試薬添付文書	U/mL	②フレ黄6	血液1.6	
前立腺特異抗原(PSA)	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	4.000 以下	試薬添付文書	ng/mL	②フレ黄6	血液1.6	
フリー-PSA	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)			ng/mL	②フレ黄6	血液1.6	
PSA-F/T比	計算値	参考:前立腺癌に対するカットオフ0.18 (診断感度90%・特異度31%)	試薬添付文書		②フレ黄6	計算項目	
サイトクラチン197フラグメント (シフラ21-1)	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	2.8 以下	試薬添付文書	ng/mL	②フレ黄6	血液1.6	
SCC	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	0.6～2.5	試薬添付文書	ng/mL	②フレ黄6	血液1.6	
可溶性IL-2レセプター	ラテックス凝集比濁法	122.0 ～ 496.0	試薬添付文書	U/mL	②フレ黄6	血液1.7	
ロイシンリッチαグリーコプロテイン (LRG)	ラテックス免疫比濁法	16 以下	試薬添付文書	μ g/mL	②フレ黄6	血液1.7	
カルバマゼピン	CLEIA法(1ステップ競合法)	設定なし		μ g/mL	②フレ黄6	血液1.0	
フェノバルビタール	CLEIA法(1ステップ競合法)	設定なし		μ g/mL	②フレ黄6	血液1.0	
フェニトイン	CLEIA法(1ステップ競合法)	設定なし		μ g/mL	②フレ黄6	血液1.0	
バルプロ酸	CLEIA法(1ステップ競合法)	設定なし		μ g/mL	②フレ黄6	血液1.0	
ジゴキシン	CLEIA法(1ステップ競合法)	設定なし		ng/mL	②フレ黄6	血液1.0	
パニコマイシン	CLEIA法(1ステップ競合法)	設定なし		μ g/mL	②フレ黄6	血液1.0	
リチウム	比色定量法	設定なし		mmol/L	②フレ黄6	血液3.0	
メトトレキサート	ホモジニアス酵素免疫法	設定なし		μ mol/L	②フレ黄6	血液3.0	
シクロスポリン	ECLIA法(1ステップ競合法)	設定なし		ng/mL	⑧K薄紫2 (EDTA2K)	血液2.0	検体凝固不可
タクロリムス	ECLIA法(1ステップ競合法)	設定なし		ng/mL	⑧K薄紫2 (EDTA2K)	血液2.0	検体凝固不可
SARS-CoV2抗原定量	ECLIA法(1ステップサンドイッチ法)	陰性(0.9未満)		C.O.I	専用容器	-	スワブを折ってチューブに入れる。

*追加可能項目について

以下の項目については、採血から規定された時間内であれば追加が可能

生化学・免疫検査項目	: 当日中 (葉酸、ビタミンB12は2時間以内)
血液検査 (血算・血液像・網状赤血球)	: 採血後4時間以内
凝固検査	: PT、APTT、フィブリノーゲン、アンチロトロンは採血後4時間以内 FDP、Dダイマーは当日中
尿一般検査	: 採取後4時間以内

* 検査所要時間

検査内容	所要時間 (検体到着後)
一般検査	1時間
血液検査 (血算)	30分
(凝固)	1時間
生化学検査	1時間
免疫検査	1時間30分

輸血関連検査

検査項目	測定法	検査所要時間	基準範囲	基準範囲出典元	単位	採取容器	材料 採取量(ml)	注意事項
血液型 ABO式	カラム凝集法・試験管法	30 分(緊急時)	設定なし			⑪輸血 (EDTA2K)	血液2.0	クロス検査用検体との同時採血不可
血液型 Rh(D)因子	カラム凝集法・試験管法	30 分(緊急時)	設定なし					
間接クームス試験	カラム凝集法	当日中	設定なし			⑫輸血6 (EDTA2Na)	血液6.5	
直接クームス試験	試験管法	当日中	設定なし			⑪輸血 (EDTA2K)	血液2.0	採取後速やかに提出

血液ガス分析(37℃での成人動脈血)

検査項目	測定法	基準範囲	基準範囲出典元	単位	採取容器	材料 採取量(ml)	注意事項			
pH	電位差測定法	7.35 ～ 7.45	Acute care testing ハンドブック		血液ガス分析専用採取容器	シリジ [®] (血液1.0ml) キャピラリー管 (血液200μl)	採血後速やかに測定 検体凝固不可 心電図室に搬送の場合は 10分以内とする			
pCO2		男 35 ～ 48 女 32 ～ 45		mmHg						
pO2		電流測定法		83 ～ 108				mmHg		
付加情報										
HCO3 ⁻	演算	21～ 28	Acute care testing ハンドブック	mmol/L						
ABE		-2 ～ 3		mmol/L						
sO2	吸光度測定法	95 ～ 99		%						
K ⁺	電位差測定法	3.4 ～ 4.5		mmol/L						
Na ⁺		136 ～ 146		mmol/L						
Cl ⁻		98 ～ 106		mmol/L						
Ca ⁺⁺		1.15 ～ 1.29		mmol/L						
Glu	電流測定法	70 ～ 105		mg/dL						
Lac		0.5 ～ 1.6		mmol/L						
tHb	吸光度測定法	男 13.5 ～ 17.5 女 12.0 ～ 16.0		g/dL						
O2Hb		94 ～ 98		%						
COHb		0.5 ～ 1.5		%						
MetHb		0.0 ～ 1.5		%						
tO2	演算	男 18.8 ～ 22.3 女 15.8 ～ 19.9		Vol%						
p50(act)T		25 ～ 29		mmHg						

分子微生物学的検査

検査項目	測定法	基準範囲	基準範囲出典元	単位	採取容器	材料 採取量(ml)	注意事項
一般細菌(塗抹)	グラム染色(フェイバー染色法)ほか	無菌材料では(-)	微生物学/臨床微生物学 第3版		容器別一覧参照		詳細は細菌検査容器別一覧を参照(院内共通資料) 血液・髄液(室温保存)その他の部位からの検体(冷蔵保存)
一般細菌(培養・同定)	好気・嫌気・炭酸ガス培養・微好気法 質量分析法および同定キット	培養陰性もしくは Normal flora	微生物学/臨床微生物学 第3版				
一般細菌(薬剤感受性)	微量液体希釈法ほか	設定なし					
抗酸菌(塗抹)	蛍光染色およびチールネールン法	(-)	臨床検査データブック 医学書院				
結核菌群核酸検出	TRC法	(-)	臨床検査データブック 医学書院				
MAC核酸検出	TRC法	(-)	臨床検査データブック 医学書院				
感染症迅速検査(ノロウイルス・アデノウイルス・ロタウイルス・CDトキシン)	イムノクロマト法	(-)	臨床検査データブック 医学書院		採便管または 滅菌容器	母指大 (3～5g)	
尿中抗原迅速検査(肺炎球菌・レジオネラ)	イムノクロマト法	(-)	臨床検査データブック 医学書院		滅菌容器	尿1.0	
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(Film Array 呼吸器専用)	マルチプレックスPCR・nestedPCR法	該当無し			専用容器	鼻咽頭ぬぐい液	
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(Film Array 髄膜炎パネル)	マルチプレックスPCR・nestedPCR法	該当無し			滅菌容器	髄液0.5	
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(BioFire血液培養パネル2)	マルチプレックスPCR・nestedPCR法	該当無し					

*追加可能項目について

一般細菌(塗抹、培養、同定)	当日中で、十分な検体残量がある場合
抗酸菌(塗抹)	
感染症迅速検査(ノロウイルス、アデノウイルス、ロタウイルス、CDトキシン)	
尿中抗原(肺炎球菌、レジオネラ)	
結核菌群/MAC核酸抽出(TRC法)	

* 一般細菌薬剤感受性検査の実施体制

材料・菌量より起因菌の可能性が考えられる菌が検出された場合に薬剤感受性検査を実施しております。ただし、以下に示す「薬剤感受性検査実施対象外となる条件」に該当する場合は、薬剤感受性検査は実施しておりませんのでご注意ください。

条件	報告値に以下のコメントが不可されていた場合	補足
①1週間以内に同一の菌が検出されている	感受性結果は別検体参照	
②薬剤感受性検査を実施しなくても使用する抗菌薬の選択が可能な菌種 または 積極的な治療対象とする可能性が低い菌種	本菌は感受性実施対象外です	例：Streptococcus 属(<i>S.pneumoniae</i> 以外)、グラム陽性桿菌(<i>Corynebacterium</i> 属など)、 <i>Moraxella catarrhalis</i> 、酵母様真菌、嫌気性菌(グラム陽性菌が検出された場合、多種多様な菌が検出された場合)など ※ただし、血液、髄液から検出された場合は実施
③CLSI(Clinical and Laboratory Standards Institute、臨床・検査標準協会)に該当菌の感受性検査方法・基準が設定されていない場合	本菌は感受性実施不可です	血液・髄液から検出されたときは可能な範囲で参考としてMIC値のみ方向kする場合あり
④感受性の実施に特殊な薬剤・条件などが必要で当院の設備では実施不可能な場合	本菌は感受性実施不可です	

※①②に該当する場合でも、治療に薬剤感受性結果が必要で医師が必要と判断された場合は薬剤感受性検査を実施いたします。検体提出日を含め、一週間以内に微生物検査室(内線2715、平日日勤帯)までお電話にてご連絡ください。

※感受性検査追加の必要性について迷われる場合は感染制御部医師までご相談ください。

※感受性は薬剤パネルを用いて実施いたします。報告対象薬剤は菌種により異なります。詳細は 院内共通資料 ― 診療関係I ― 検査 ― 検査案内 ― 3.細菌検査関連 ― 3.一般細菌感受性パネル をご確認ください。

* 検査所要時間

《微生物学的検査》

検査内容	検査受付時間	所要時間(検体到着後)
感染症迅速検査(ノロウイルス・アデノウイルス・ロタウイルス・CDトキシン)	平日 8:30～16:30	1時間
尿中抗原迅速検査(肺炎球菌・レジオネラ)	24時間受付	30分

《分子生物学的検査》

検査内容	所要日数	備考
結核菌群核酸検出	1-7日	長期連休の場合は、この限りではありません
MAC核酸検出	1-7日	

生理検査

検査項目	検査所要時間	測定法および 基準範囲または臨床判断値	基準範囲出典元	検査依頼に関する注意事項
12誘導心電図	10分	標準12誘導心電図	心電図テキスト	
マスター負荷心電図	30分	マスター2階段法	運動負荷心電図	
トレッドミル負荷心電図	30分	Bruce法、Sheffield法	運動負荷試験	
その他の負荷心電図	30分			
心肺運動負荷試験(CPX)	60分	Ramp負荷	CPX・運動療法ハンドブック	
心機図(PWV・ABI)＊	20分	baPWV: < 1400 cm/s ABI: 0.9～1.3	新しい血圧測定と脈波解析マ ニュアル 血管機能の非侵襲的評価法 に関するガイドライン2013	予約検査は、予約票を渡してください。時間に遅れないようお願いしま す。予約時間に遅れた場合は検査ができないことがあります。
血圧脈波検査(CAVI)＊	20分	CAVI < 8	血管機能の非侵襲的評価法 に関するガイドライン2013 (EX-080-1125)	ホルター心電計の装着後は、検査の制限がありますので複数の検査 の予約時間にご注意ください。
ホルター心電図 ホルター血圧心電図	装着30分 記録24時間	誘導 CM5、NASAまたはCC5	心電図テキスト 基礎A	＊ 四肢の血圧測定に支障がある場合はコメントをお願いします。血圧 測定に支障がある部位のコメントをお願いします。 ＊ ＊ 足底、足背のみの実施となります。
心室遅延電位	60分	f-QRS > 135 msec(c-fQRSd > 105msec) RMS40 < 15.0 μ V LAS40 > 39 msec 2つ以上陽性時にLP陽性	加算平均心電図と心室遅延 電位	
皮膚灌流圧 ＊ ＊	60分	<30 mmHg: 重症虚血肢 ≥40 mmHg: 潰瘍治癒可能性有	PADとSPPIについて	
Endo-PAT	30分	RH-PAT法 RHI: ≥1.68	血管機能の非侵襲的評価法 に関するガイドライン2013	
一般呼吸機能検査 肺活量 努力性肺活量	20分	(一部のみ) % VC: ≥80 % 1秒率: ≥70 %	呼吸機能検査ハンドブック	
精密呼吸機能検査 機能的残気量 肺拡散能力	60分	(一部のみ) 残気率 34歳まで 約20 % ～ 25 % 予測値の≥80 % Dlco ≥ 25mL/min/torr	総合呼吸機能自動解析シス テム ここが知りたい!!スパイロメ リーの基本と秘訣	結核の既往、3ヶ月以内の胸部X線検査を実施し、異常がないことの確 認をお願いします。
睡眠時呼吸モニター	装着30分 記録8時間	無呼吸低呼吸指数(AHI) 4以下	睡眠時無呼吸症候群の検査 から治療まで	
簡易心臓エコー	30分			
心臓エコー	45分			
腹部エコー	30分			
腎動脈エコー	30分			
消化管エコー	45分			
頸動脈エコー	30分	断層法およびドブラ法	心臓超音波テキスト 腹部超音波テキスト 血管超音波テキスト 乳房超音波診断ガイドライン 甲状腺超音波診断ガイドブ ック	外来での検査を優先しています。緊急時には電話連絡をお願いしま す。 患者さんに予約票を渡してください。時間に遅れないようお願いしま す。 入院患者の検査の場合は一週間前後の期間を頂いております。電話 連絡をお願いします。
下肢静脈エコー	45分	基準範囲および臨床判断値は右欄参照		
下肢動脈エコー	45分			
その他の血管エコー	30分			
乳腺エコー	20分			
甲状腺エコー	20分			
表在エコー	20分			
脳波	60分	10/20法		
大脳誘発電位	30分	平均加算法	神経生理技術教本	患者さんに予約票を渡してください。時間に遅れないようお願いしま す。
誘発筋電図	30分	Benilly-Tendon法、逆行法		

病理検査: 院内共通資料内の病理検査項目一覧(院内)を参照してください。